

<関東信越> 東京都立産業技術高等専門学校(公立)

*****断り*****

図や一部文章は当該高専 HP 及び当該高専が作成する資料より引用

東京都立産業技術高等専門学校 HP : <https://www.metro-cit.ac.jp/index.html>

*アクセス(図 1 は都立産技高専 HP より引用)

- ・品川キャンパス (品川区東大井)
〒140-0011 東京都品川区東大井 1-10-40
- ・荒川キャンパス (荒川区南千住)
〒116-8523 東京都荒川区南千住 8-17-1



図 1 アクセスマップ

*特色(一部文章及び図 2 は都立産技高専 HP より引用)

- ・東京都立産業技術高等専門学校(以下、産業技術高専)は、首都東京の産業振興や課題解決に貢献するものづくりスペシャリストを育成する公立高専として、平成 18 年に都立工業高専と都立航空工業高専が統合・再編されて開校した。
- ・産業技術高専の本科は、ものづくり工学科 1 学科のみで、2 つのキャンパスには、社会の多様なニーズの応えるために 8 つの特徴的な教育コースが設置され、1 年次に混成クラスで共通の授業を受け、2 年進級時にコースを選べるコース選択制が採用されている。また、首都東京の問題解決に取り組むための科目が設置されているのも特徴の 1 つである。



図2 学科編成

- ・専攻科は機械工学コース、電気電子工学コース、情報工学コース、航空宇宙工学コースの4コース編成
- ・学校全体で国際化を推進し、ICTを積極的に活用するなど、学生の教育環境の改善に努めるとともに、校内塾による学生への補習体制や、キャリア支援教育など、学生への支援体制も充実している。
- ・東京都公立大学法人内の連携
平成20年には公立大学法人首都大学東京（令和2年4月1日より東京都公立大学法人に名称変更）に移管され、東京都立大学、産業技術大学院大学、産業技術高専の3つの高等教育機関の連携が強化された。

連携の事例

- ・本校専攻科から産業技術大学院大学への特別推薦入試制度
- ・東京都立大学への編入学推薦枠の設置
- ・学校間の共同研究の推進
- ・法人内の制度を利用した学生支援体制の充実

また、工業高校からの本校への編入学制度もあり、本校は、首都東京において、多様なキャリアパスを持った、技術者教育の中核的な役割を担う教育機関となっている。

*使命 教育理念 学習・教育到達目標(一部文章は都立産技高専 HP より引用)

本校の使命

首都東京の産業振興や課題解決に貢献するものづくりスペシャリストの育成

教育理念

本科「ものづくり工学科」

使命を実現するために、科学技術の高度化、複合化、グローバル化に迅速に対応できる応用力、創造力を有した実践的技術者を育成する。

専攻科「創造工学専攻」

より深く精緻な知識と技術を教授し、専門分野における研究を指導することにより、総合的実践的技術者を育成する。

学習・教育到達目標

A.学習力

総合的実践的技術者として、自主的・継続的に学習する能力

B.コミュニケーション力

総合的実践的技術者として、協働してものづくりに取り組んだり国際社会で活躍したりするために、論理的に考え、適切に表現する能力

C.人間性・社会性

総合的実践的技術者として、産業界や地域社会、国際社会に貢献するために、豊かな教養を持ち、技術者として社会とのかかわりを考える能力

D.基礎力

総合的実践的技術者として、数学・自然科学・自らの専門とする分野の基本的な技術と基礎的な理論に関する知識をもち、工学的諸問題にそれらを応用する能力

E.応用力・実践力

総合的実践的技術者として、専門知識を応用し問題を解決する能力

F.創造力

総合的実践的技術者として、工学的立場から地球的視点で社会に存在する問題を発見し、発見した問題を解決する能力

*アドミッションポリシー(入学者受け入れ方針) (一部文章は都立産技高専 HP より引用)

(本科)

(教育理念)

首都東京の産業振興や課題解決に貢献するものづくりスペシャリストを育成するために、科学技術の高度化、複合化、グローバル化に迅速に対応できる応用力、創造力を有した実践的技術者を育成する。

(求める生徒像)

本校の教育理念に基づいた人材を育成するために、以下の能力と意欲を有する生徒を求めている。

- (1) 向上心を持ち、自分の決めた目標に向けて粘り強く努力できる人
- (2) 高専での教育を受けるのにふさわしい基礎知識・能力を有している人
- (3) コミュニケーション能力を身に付け、世界を舞台に活躍したい人

(4) ものづくりが好きで、実践的技術者になりたいと考えている人

(専攻科)

(教育理念)

首都東京の産業振興や課題解決に貢献するものづくりスペシャリストを育成するために、より深く精緻な知識と技術を教授し、専門分野における研究を指導することにより、総合的実践的技術者を育成する。

(求める学生像)

本校の教育理念に基づいた人材を育成するために、以下の能力と意欲を有する学生を求めている。

- (1) 数学や工学に関する基礎知識を有し、より高度な工学を学ぶ能力と意志のある人
- (2) 工学について広い視野を持ち、課題に向かって挑戦しようとする意欲のある人
- (3) コミュニケーション能力を身に付け、科学技術を通して国際社会に貢献したい人

*入試形態

(本科)

推薦選抜、学力選抜、4年次編入学

(専攻科)

推薦選抜、学力選抜、社会人特別選抜

*試験状況及び偏差値や倍率(表1～3は都立産技高専HPより引用)

表1 令和2年度の本科募集人員

○募集人員（本科）（単位：人）

学科名	キャンパス別内訳			都内・都外別内訳	
				都内 在住者	都外 在住者
ものづくり 工学科	品川 キャンパス	160	(64)	260 (64)	60 (0)
	荒川 キャンパス	160			
合計		320	(64)	320 (64)	

※（）書きは推薦に基づく選抜による募集人員で内数
 ※ 推薦割合は募集人員の20%以内（特別推薦を含む）
 ※ 都外在住者を受け入れているため、都内在住者と都外在住者別の募集人員がある。
 ※ 募集人員から、推薦に基づく選抜における入学手続者のうち、当該キャンパスへの通学を希望する者の人数を差し引いた人員が、各キャンパスの学力検査に基づく選抜の募集人員となる。

表2 令和2年度の試験状況と倍率

科名
ものづくり工学科（偏差値60）
合格人員

募集 人員 【A】	最終応募人員			最終 応募 倍率 【B】 【B/A】	受検人員			受検 倍率 【C/A】	合格人員			実質 倍率 【C/D】
	男	女	計 【B】		男	女	計 【C】		男	女	計 【D】	
256 (60)	508 (162)	52 (12)	560 (174)	2.19	50 (161)	51 (12)	554 (173)	2.16	262 (93)	36 (9)	29 (102)	1.86

※（）書きはいずれも都外在住者の数で内数

表3 令和2年度の専攻科募集人員

募集人員

学力による選抜 17人

※専攻科募集人員(32人)から推薦選抜及び社会人特別選抜の入学手続人員を差し引いた人数が学力による選抜の募集人員となる。

推薦選抜及び社会人特別選抜実施状況(単位:人)

専攻科 募集 人員	推薦選抜 及び 社会人 特別選抜 対象人員	推薦選抜 応募人員	推薦選抜 受検人員	推薦選抜 合格人員	推薦選抜 入学手続 人員
32	25	15	15	15	15
		社会人 特別選抜 応募人員	社会人 特別選抜 受検人員	社会人 特別選抜 合格人員	社会人 特別選抜 入学手続 人員
		0	0	0	0

※推薦選抜及び社会人特別選抜は、同一募集人員の中で行われる。

※推薦選抜及び社会人特別選抜対象人員は、専攻科募集人員(32人)の80%以内とされている。

*ディプロマ・ポリシー(卒業・修了認定方針)(一部文章は都立産技高専 HP より引用)
(本科)

本校の使命である「首都東京の産業振興や課題解決に貢献するものづくりスペシャリストの育成」を実現するために、準学士課程(本科の教育課程)において、厳正な成績評価のもと、所定の単位を修得し、次の能力を身に付けた学生に対して卒業を認める。

- ・自主的・計画的・継続的に学習する能力
- ・協働してものづくりに取り組んだり国際社会で活躍したりするために、論理的に思考し、表現する能力
- ・産業界や地域社会、国際社会に貢献するために、豊かで幅広い教養をもち、技術者として責任ある思考と行動ができる能力
- ・数学・自然科学・自らの専門とする分野の基本的な技術と基礎的な理論に関する知識をもち、工学的諸問題にそれらを応用する能力

- ・専門知識を応用して問題を解決する能力
- ・工学的な立場から地球的視点で社会に存在する問題を発見し、発見した問題を解決する能力

(専攻科)

本校の使命である「首都東京の産業振興や課題解決に貢献するものづくりスペシャリストの育成」の下で、より深く精緻な知識と技術を教授し、専門分野における研究を指導することにより、総合的実践的技術者を育成するために、専攻科の教育課程において、厳正な成績評価のもと、所定の単位を修得し、次の能力を在学中に身に付けた学生に対して修了を認める。

- ・自主的・計画的・継続的に学習する能力
- ・協働してものづくりに取り組んだり国際社会で活躍したりするために、論理的に思考し、表現する能力
- ・産業界や地域社会、国際社会に貢献するために、豊かで幅広い教養をもち、技術者として責任ある思考と行動ができる能力
- ・数学・自然科学・自らの専門とする分野の基本的な技術と基礎的な理論に関する知識をもち、工学的諸問題にそれらを応用する能力
- ・専門知識を応用して問題を解決する能力
- ・工学的な立場から地球的視点で社会に存在する問題を発見し、発見した問題を解決する能力

*カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）（一部文章及び表 4,5 は都立産
技高専 HP より引用）

(本科)

ものづくり工学科では、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を修得させるために、専門科目と一般科目をくさび形に編成した 5 年間の一貫した教育課程を編成している。2 年次より 8 つの各コースに分かれ、ものづくり技術の修得を図るため、コース必修科目と選択科目を配置している。

◇教育課程の方針

- (1) 1 年次はものづくりの基礎全般を修得するための、ものづくり工学科共通の必修科目を編成する
- (2) コミュニケーション力や人間性・社会性の涵養と各自の進路に合った選択を可能にする一般科目を編成する
- (3) 首都東京の産業振興や課題解決を技術的観点から取り組むための各コース

共通の選択科目を編成する

- (4) 各専門分野で基礎から高度なものづくり技術を修得するために、専門科目を編成する
- (5) ものづくり教育を身に付けるために、各コースの実験や実習に係る専門科目の単位総数は、各コース総開講単位数の約 3 割になるように編成する※
- (6) 課題解決型の学習を行うために、共通必修科目としてゼミナール、卒業研究を編成する

※1 年ものづくり科目、2 年生以降の実験実習、製図、情報端末室使用講義、ED、4 年ゼミナール、5 年卒業研究等を含む

◇実施方針

- ①「ディプロマ・ポリシー」に定めた能力が、各教育課程でどのように養成されるかを学生が把握できるように、シラバスに修得できる能力を示している。
- ②成績評価の公正性と透明性を確保するために、各科目の到達目標に対する達成度を目安として採点し、客観的な評価を行う。

◇成績評価

- ①シラバスに示す評価方法に基づいて実施する。
- ②成績は 100 点法により採点し、学修の評価は以下の区分による表記で行う。

表 4 本科の成績評価

評価	100～90	89～80	79～70	69～60	59～40	39～0	未履修
評語	S	A	B	C	D		E
5 段階表記	5		4	3	2	1	未履修
可否	合格（または G）				不合格		未履修

(専攻科)

本校においては、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を修得させるために、機械工学コース、電気電子工学コース、情報工学コース及び航空宇宙工学コースの教育課程を編成している。一般科目は 8 単位以上、各コースの専門科目 54 単位以上（必修科目 20 単位以上とその他の科目 34 単位以上）を修得できるように科目を配置している。

◇教育課程の方針

- (1) 高専の準学士課程教育で修得した学力を基礎として、幅広い教養と国際的視野を涵養するために語学関連科目、数学関連科目及び社会・経済関連科目などの

一般共通科目を編成する

- (2) 首都東京の産業振興や課題解決を技術的観点から取り組むための専門共通科目を編成する
- (3) 各専門分野で高度なものづくり技術を修得するために、専門科目を編成する
- (4) 課題解決型の学習を行うために、専門必修科目としてエンジニアリング・デザイン、専攻科インターンシップ、専攻科ゼミナール、専攻科特別研究Ⅰ,Ⅱを編成する

◇実施方針

- ①「ディプロマ・ポリシー」に定めた能力が、各教育課程でどのように養成されるかを学生が把握できるように、シラバスに修得できる能力を示している。
- ②成績評価の公正性と透明性を確保するために、各科目の到達目標に対する達成度を目安として採点し、客観的な評価を行う。

◇成績評価

- ①シラバスに示す評価方法に基づいて実施する。
- ②成績は 100 点法により採点し、学修の評価は以下の区分による表記で行う。

表 5 専攻科の成績評価

評点	100～80	79～70	69～60	59～0
評語	A	B	C	D
合否	合格			不合格

*JABEE 認定制度(一部文章及び図 3 は都立産技高専 HP より引用)

本校の取組

本校は東京都の産業振興や課題解決に資する「ものづくりスペシャリスト」の育成を使命としている。開校して以来、グローバル化が進む社会に対応すべく様々な教育の取組を進めてきた。その中で、本校の技術者教育の質の向上と国際的に通用する技術者育成の必要性から、平成 25 年度より日本技術者教育認定機構（JABEE）の教育プログラム認定を受審すべく、専門の部会を設置し、教育内容等について検討を重ねてきた。

本校の教育プログラム



図3 教育プログラム

本校は、首都東京の産業振興や課題解決に貢献するものづくりスペシャリストの育成を使命として、グローバル化に対応した国際的に活躍できる総合的実践的技術者の育成を目指して、JABEE 受審を目途にし、「教育プログラム」と「学習・教育到達目標」を定め教育を行う。

教育プログラムは、機械工学プログラム、電気電子工学プログラム、情報工学プログラム、そして創造システム工学プログラムの4つからなり、本科4年次から専攻科2年次までの4年間にわたり実施される。

これらの教育プログラムは、次に示す学習・教育到達目標を基に、本科でのエンジニアに必要な基礎教育から、専攻科でのより深く精緻な知識と技術の教授と、専門分野における研究の指導により、科学技術の高度化、複合化に対応できる応用力、創造力を有した総合的実践的技術者の育成を目指して設計されている。

本校の教育プログラムの目的

本教育プログラムは、本校の使命と教育理念を受け、最も得意とする専門工学の知識と能力を身に付けそれを深め、あるいは異なる工学分野の知識を理解し融合することにより、広い視野に立って首都東京の問題解決に取り組むことのできる総合的実践的技術者を育成することを目的とする。

育成する技術者像

機械工学プログラム

機械工学は、あらゆる産業技術の基盤であり、また、人間社会のあらゆる機器、製品、構造物等をつくり出すための重要な技術分野である。とくに、材料力学、流体力学、熱力学、機械力学の4力学は機械工学の基盤となる。機械工学プログラムでは、この4力学を軸として専門性を深め、材料、加工計測・制御、生産、設計など関連する分野についても習得する。これら機械工学の各分野について、座学と実験実習・製図などとの連携でより深く理解し、広い技術分野で活躍することができる技術者を育成する。

電気電子工学プログラム

現代社会は電気電子技術なしでは成り立たない。世の中は電気電子技術を使用した機器であふれているが、地球環境の保全、限られた資源の有効利用の必要性が高まる中で、エネルギー、エレクトロニクス各技術だけではなく、これらを統合することで高度知能化・高集積化を可能にする情報・制御技術も必要になる。電気電子工学プログラムでは環境・クリーンエネルギー、エレクトロニクス、情報・制御の分野で活躍できる高度なものづくり技術を修得した技術者を育成する。

情報工学プログラム

情報インフラは、重要な社会基盤の 1 つである。これらの情報インフラを支えるためには、情報学および数理情報の基礎知識、およびこれら基礎知識を活用する能力が必要である。すなわち、コンピュータ・サイエンスに関する基礎力および実践力が必須である。情報工学プログラムでは、コンピュータ・サイエンスに関する基礎力・実践力を有し、今後の情報インフラを創造する技術者を育成する。

創造システム工学プログラム

グローバル化した社会において、高度化、複合化した工学分野の諸問題を解決して「ものづくり」を行うために、基礎となる機械工学技術、電気電子工学技術とそれらを結ぶ情報システム技術について深い専門性を養いつつ、先進的な他の分野の知識と技術を身に付ける。創造システム工学プログラムでは、このような複合的な教育を行うことにより、多角的な視野から問題を解決する能力を備えた創造力豊かな、世界に通用する「ものづくり技術者」を育成する。

履修について

本教育プログラムの教育期間は、本科 4 年から専攻科 2 年までの 4 年間としている。そのため、本科 3 年次で各教育プログラムの説明をし、その後、履修する教育プログラムを選択する。履修生は、各教育プログラムにて定められた科目の単位を取得することになる。

本科 4 年編入学生の教育プログラム履修について

本科 4 年に編入する学生には、編入前に各教育プログラムの説明をする。編入学後は他の本科生と同等の扱いとなる。

修了要件について

以下の各号の全てをみたしたものとする。

- ①専攻科カリキュラム表で定められたすべての必修科目を修得する。
- ②専攻科に 2 年以上在学し 62 単位以上（一般科目、英語系必修選択 2 単位以上、数学系必修選択 2 単位以上と必修選択以外の選択科目から 2 単位以上を合わせて 8 単位以上、専

門科目 54 単位以上) の科目を修得する。

③学位 (学士) 申請要件を満たすために必要な科目を修得する。

④所属する各教育プログラムの修了要件を満たす。

* 卒業後の進路状況(表 6～9 は都立産技高専 HP より引用)

表 6 過去 3 年の本科卒業生進学状況

年度	首都大	長岡技大	豊橋技大	千葉大	農工大	電通大	電機大	産技高専科	その他(内訳)
2017	11	11	8	3	3	3	3	32	北海道大学 1、群馬大学 1、信州大学 1、山梨大学 1、千葉工業大学 3、東京海洋大学 3、三重大学 1、広島市立大学 1、工学院大学 1、中央大学 1、日本大学 3、東京理科大学 1、早稲田大学 1
2018	11	8	9	1	3	3	3	31	北海道大学 1、群馬大学 1、信州大学 1、山梨大学 1、千葉工業大学 3、東京海洋大学 3、三重大学 1、広島市立大学 1、工学院大学 1、中央大学 1、日本大学 3、東京理科大学 1、早稲田大学 1
2019	10	16	6	2	2	4	2	26	北見工業大学 1、宇都宮大学 1、横浜国立大学 1、新潟大学 1、札幌市立大学 1、千葉工業大学 1、東海大学 1、東京理科大学 1、日本大学 1、早稲田大学 1、津田塾大学 1、多摩美術大学 1

表 7 2019 年度の本科卒業生進学状況

進学先	進学者数
山形大学大学院	1
埼玉大学大学院	1
筑波大学大学院	2
長岡技術科学大学大学院	1
東京工業大学大学院	1
産業技術大学院大学	1
日本大学大学院	1
電気通信大学大学院	2
北陸先端科学技術大学院大学	1
合計	11

表 8 2019 年度の本科卒業生就職状況

		教育コース	企業名
もの づくり 工学科	品 川 キ ャ ン パ ス	機械 システム 工学コース	ANA ベースメンテナンステクニクス(株)、(株)NTTファシリティーズ中央、(株)大林組、(株)クボタ 筑波工場、コニカミノルタジャパン(株)、(独)国立印刷局、JFEスチール(株)東日本製鉄所、(株)伸光製作所、新菱テクニカルサービス(株)、(株)総合車両製作所、東海旅客鉄道(株)、東京ガス(株)、新潟トランス(株)、(株)ニッセー、ハイウェイ・ツール・システム(株)、(株)ポートエモーション、(株)マイスターエンジニアリング、山崎製パン(株)、YKKAP(株)
		生産 システム 工学 コース	(株)アビスト、(株)アルバック、オークマ(株)、(株)カンセツ、(株)加藤製作所、(株)関東製作所、(株)キッツ、スタンレー電気(株)、ゼブラ(株)、ダイキンエアテクノ(株)、(有)長嶋工業所、日本トーカンパッケージ(株)、日本貨物鉄道(株)関東支社、(株)日立ビルシステム、ファナック(株)、三菱電機エンジニアリング(株)、三菱電機システムサービス(株)、(株)読売システック、横浜ゴム(株)
		電気電子 工学 コース	(株)NTTファシリティーズ中央、(株)関電工、(株)JVCケンウッド、(株)JR東日本メカトロサービス、住友不動産(株)、総合警備保障(株)、東京水道サービス(株)、東京都下水道サービス(株)、東芝エレベータ(株)、パナソニック(株)アプライアンス社、ヒビノメディアテクニカル(株)、(株)日立産業制御ソリューションズ、東日本旅客鉄道(株)、防衛省 自衛隊、Mywayプラス(株)
		電子情報 工学 コース	(株)アルファシステムズ、アイ・システム(株)、(株)エヌ・エス・ディ、NTT東日本グループ会社、NTTコムエンジニアリング(株)、NTTコムソリューションズ(株)、KLab(株)、(株)KSF、セントラルソフト(株)、(株)ソルコム、千葉県、(株)ティ・アイ・ディ、日立交通テクノロジー(株)水戸事業所、(株)ビズリーチ、(株)Blueship、(株)ユービーセキュア、横河レンタ・リース(株)
	情報通信 工学 コース	(株)アクロイト、朝日エティック(株)、アイ・システム(株)、イーテクノ(株)、(株)エッチ・アイ・シー、AGS(株)、サン・エム・システム(株)、シャープ(株)、ダイキンエアテクノ(株)、テーブルマーク(株)、東京水道サービス(株)、東海旅客鉄道(株)、東急テクノシステム(株)、(株)成田エアポートテクノ、日本ビルコン(株)、日本電気計器検定所、日本デジタル配信(株)、ニューロング精密工業(株)、ヒロセ電機(株)、(株)朋栄、(株)ロッセ	
荒	ロボット工	アクアエンジニアリング(株)、池上通信機(株)、NOK(株)、花王(株)、(独)	

川 キ ヤ ン パ ス	学 コース	国立印刷局、神鋼ノース(株)、セイコーエプソン(株)、(株)タカラトミー、館林钣金塗装(有)、千代田工商(株)、東芝エレベータ(株)、東京都、(株)東京自働機械製作所、ナブコシステム(株)、(株)ニチボウ、日本空港テクノ(株)、パナソニック(株) コネクティッドソリューションズ社、(株)ヒダン、東日本高速道路(株)、ミネベアミツミ(株)、三菱電機ビルテクノサービス(株)、(株)メジャーシステム、レンゴー(株)八潮工場
	航空宇宙 工学 コース	(株)I H I、ANAベースメンテナンステクニクス(株)、ANAラインメンテナンステクニクス(株)、キヤノン(株)、(株)クボタ 筑波工場、コーンズテクノロジー(株)、三和工機(株)、新明和工業(株)、新中央航空(株)、(株)J A Lエンジニアリング、(株)S U B A R U 航空宇宙カンパニー、(株)S U B A R U、ダイキン工業(株)、東レ(株)、東京エレクトロングループ、東急テクノシステム(株)、東海旅客鉄道(株)、日本貨物鉄道(株)関東支社、日野自動車(株)、(株)日立ビルシステム、日立建機(株)、フードテクノエンジニアリング(株)、ファナック(株)、三菱重工業(株)、三菱電機ビルテクノサービス(株)、(株)三井E&Sマシナリー、三菱重工冷熱(株)、(株)明電舎、レンゴー(株)八潮工場
	医療福祉 工学 コース	(株)アビスト、アベテクノシステム(株)、アルプスアルパイン(株)、(株)川島製作所、キヤノンマーケティングジャパン(株)、京西テクノス(株)、キヤノンメディカルシステムズ(株)、サントリーホールディングス(株)、島津メディカルシステムズ(株)、東京水道サービス(株)、東海旅客鉄道(株)、(株)日立ハイテクフィールドディング、富士フィルムメディカル(株)、富士ゼロックス東京(株)、武州製薬(株)、リンテック(株)、ロシュ・ダイアグノスティックス(株)

表 9 2019 年度の専攻科卒業生就職状況

企業名	就職者数
(株) エスプールロジスティクス	1
(株) 荏原製作所	1
K Y B (株)	1
ジョンソンコントロールズ (株)	1
(株) 日産オートモーティブテクノロジー	1
日本精工 (株)	1
日立造船 (株)	1
三菱ガス化学 (株)	1

企業名	就職者数
理想科学工業（株）	1
（株）共和サービスセンター	1
（株）小松製作所（コマツ）	1
住友電設（株）	1
（独）製品評価技術基盤機構	1
日本デジタル配信（株）	1
（株）インフォセック	1
NTTコム ソリューションズ（株）	1
S a n s a n（株）	1
（株）D o n u t s	1
（株）GWC	1
合計	19